

平和地区の支援活動報告

稲沢市社福協 地縁再生プログラム

稲沢市社会福祉協議会は三十一日、希薄化する地域のつながりを考える「市地縁再生プログラム」を市勤労福祉会館で開き、市内各

地区の課題や取り組みを共有した。地域住民らでつくる「生活支援体制整備推進協議会」が本年度、市内の全九



平和地区の取り組みを紹介する担当者(左)＝稲沢市勤労福祉会館で

地区で発足したことを受け初めて開催。九地区の代表者や民生委員ら約百人が参加した。

公益財団法人さわやか福祉財団(東京都)の長瀬純治さんから協議会の役割を聞いた後、代表者が各地区の取り組みを紹介。二〇一七年に市内で最初に協議会が発足した平和地区は、月一回、地区内の高齢者を大型スーパーマーケットまで送迎して買い物を支援する活動を報告し「日常生活の不安や悩みを見逃さず、支え合って生きていける社会を実現したい」と話した。

市老人クラブ連合会の柿

沼晋会長(左)は「協議会の理解を深め、地域で安心して暮らすために何をすべき

か考える機会になってほしい」と期待した。

(牧野良美)